

# 大すきひろせ

広瀬交流センター・広瀬公民館だより  
174号 2022年2月号

## 新春特別増刊号

例年1月1日に開催している広瀬地区新年賀会の開催に代えて、地域の皆様からお寄せいただいた、新年のあいさつ、地域への想いなどを、新春特別増刊号に載せてお届けいたします。

### 交流センター運営協議会

副会長 太田真英



あけましておめでとうございます。

皆様は今年のお正月はどのように過ごされましたでしょうか。

久しぶりに遠方のご家族やご親戚の方が帰省された方もあります。うちも津山から娘が帰省しました。

しかし、少し落ち着いていたコロナがオミクロンという新種によってまた拡大しつつあるようです。コロナが再流行すると、また行事が縮小したり、懇親会関係が減ったり、色々な意味で大変な業界もあると思います。

ただ正直、私自身は今の生活に慣れてきてしまっている部分があります。慣れたといいますが、今まで考えもしなかった、新たな方法で、新たな形で様々な活動が出来てきているなど感じています。

いつまでコロナ禍の時代が続くかは解りませんが、色々な活動を中止ではなく、形を変えての継続が出来る一年になることを願いつつ私のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願ひいたします。

団体編

順不同・敬称略



### 広瀬地区婦人会 会長 岡崎憲枝

”年酒が過ぎていませんか”お正月にお会いするとこのような挨拶も聞かれたものですが、想像だにできなかったコロナ新株で、またもや余儀無く去年と同じ一人酒・・・”仏の顔も三度”と諺どおりなら我慢のしようもありかと思うのですが。

女性にとっても、女正月をしたいものですがそうもいきません。家族の健康もバランスの良い食事が大切と気が抜けません。しっかり食べて、運動も少し頑張り、人との繋がりも大切と考え、老人症候群にならないよう気をつけ、一日一日を過ごすよう心掛けようと思うところです。

### 安来市商工会 副会長 長谷川 豊

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、我々商工業者をご愛顧たまわり誠にありがとうございました。本年も引き続きご利用下さいます様、よろしくお願ひ申し上げます。安来市商工会は、伯太町と合併した平成18年に370社で再スタートしましたが、令和四年一月現在270社となり、15年で100社がなくなりました。

深刻化する人手不足、経営者の高齢化、後継者不足、さらに新型コロナウイルス感染症が一層の拍車をかけ、広瀬町から商店、工場が消えてなくなるのではないかと危惧しております。この現状を深刻に受け止め、本年は一日でも早く日常がもどる事を祈念し、皆様の知恵をおかりし、広瀬町の商工業が発展する様願っております。終わりに、皆様方の御健康とご多幸を御祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

追伸 現在休館中の富田山荘の利活用に向けて検討中です。是非皆様方からの御意見、御提案を、安来市商工会までお寄せ下さい。





## 観光協会広瀬支部 支部長 平原金造

新年明けましておめでとうございます。

今年も年頭の恒例行事が中止になり、静かな正月となりました。

さて、コロナウイルスのため、人と人とのつながりだけでなく、歴史や伝統、文化といったものまでもが分断されてしまわないかと危惧をするのは私だけでしょうか。

一方、ワクチンに効果があることが分かってきました。経口薬も開発されています。このような状況をしっかりとらえながら、コロナウイルスにどのように向き合っていくかを考えていく、そんな時期になっているのではないかと思います。

観光協会広瀬支部では、少しずつでも歩んで行きたいと思っています。



## 安来市商工会青年部 副部長 村本 剛

新年明けましておめでとうございます。地域の皆様には、日頃より安来市商工会青年部の活動に対し、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベントの中止・縮小を余儀なくされました。特に広瀬町の夏のイベント”祇園祭”は二年もの間ひっそりと身を潜めています。今年は、疫病を鎮めるべく、にぎやかに開催される事を願うばかりです。商工会青年部では、七夕飾りの回収、盆踊り大会など地域の皆様誰でも楽しむ事の出来る活動を行っています。コロナ収束とともにイベントが開催された際には、是非地域の皆様に足を運んでいただけたらうれしく思います。



## 広瀬地区体育協会 会長 岩田仁志

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年もコロナ禍で体育行事のほとんどが出来ませんでした。その中でもコロナ対策をしっかりとて幸盛祭ウォーク、幸盛マラソンでは、広瀬の小中学生のみとしましたが、約百二十名の参加をいただき、盛大に出来ました。その他にも恒例のグラウンドゴルフ大会、安来市駅伝大会の

役員協力又、陸上部が中心となり一般より選手をつのり広瀬地区体協として参加しました。見事に優勝をして、三連覇を達成しました。とても嬉しい話題でした。

本年も、コロナが終息とまでは行かないと思いますので、コロナ対策をしっかりと行いコロナと共存して行かねばと思っています。コロナで体育行事がどこまでやれるのか？ですが対策をしっかりとやり少しでも多くの行事を行い、身体を動かし免疫力アップをしましょう。



## 交流センター運営協議会 祖田秀人



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年一昨年とコロナウイルスの為、さまざまな行事、イベントが中止となり心寂しい年となりました。4月から毎月のようにあったスポーツ行事も中止となり、あれ？同じ町内の人達とあまり会えてないぞと感じました。毎月毎月大変でしたが、今思えば年に数回位しか会えてなかった若い人達との交流も失われてしまっていたのだと感じます。早く元の生活に戻る事を願ってやみません。

最後に昨年、衆議院選挙があり、やはり決まって一票の格差問題が出ます。マイナンバーカードを使って、本籍地にふるさと選挙出来る様にすれば、地方出身者の集まりの都会部が格差になったりしてね。



新年あけましておめでとうございます。

日頃より JA しまねの事業に対しご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年はコロナ禍による緊急事態宣言が出される中、東京オリンピックが開催されましたが、今一つ盛り上がり欠ける大会となり、景気回復にはつながりませんでした。そして、自然災害の増加、コロナ変異株の感染拡大と苦難の年でした。今年、コロナ禍での働き方や行動スタイルが大きく変わるのではないかと考えています。コロナとの共存を模索しながら、ゼロ炭素時代（カーボンニュートラル）これを捉え、持続可能な地域社会をつくり、さらに“住みよい街広瀬”に“住みたい街広瀬”に、挑戦していきましょう。

JAしまねも地域の活性化に組織をあげて協力して参ります。

### 安来市議会議員 足立喜信



皆様明けましてお目出とうございます。

昨年は、コロナの一年でした。しかしながら大谷翔平選手のアメリカでの活躍は、私達の気持ちを大きく勇気づけてくれました。新たなコロナもありますが、今年中に治るのではと希望するものです。一方経済面では、株価の大幅値上がり等、大きく前に向かって動いております。又今や脱CO2に向け官民あげての取組が進んでおります。中でも私が今注目しておりますのは、粉炭（炭）であります。炭は田畑に入れますと、土地が活性化し作物が大変良く出来ます。そして土に入れた炭はCO2のマイナスとして、カウントされて政府より多額の助成があります。今や各地で、この事業の取組が始まりつつあります。中山間地の活性化のために、我が町でもこれを取組する事が出来ないか、行政の協力はもちろん必要であります。今私一人で思いめぐらしております。どうか皆様方共々に、本年が良い年となりますように



### 広瀬町交友会 会長 中村義英



新年あけましておめでとうございます。

今年も事故の無い安全な一年であります様にお祈り申し上げます。

私ども交友会としましては、横断旗、反射タスキ等の安全グッズを提供したり、皆様の要望にできるだけ早く対応していこうと考えております。

20年来続けている青色パトロールでの巡回で感じる事のひとつに、子供達の道路上での歩行のマナーが良いと思う事です。車に関しては性能

が良くなりハイブリッド又はEV車等の騒音が出ない車が増えて来て接近に気づきにくくなり、左右確認をおこたると危ないと感じました。運転者は歩行者の近くを通る時は、特に急な動きに対応出来る様に速度をおとすように注意したいと思います。地域の皆様コロナに負けずにガンバリましょう。

### 自主防災ひろせ 会長 太田正紀



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、7月7日朝方より大雨により、警戒レベル4という災害レベルの発令がございました。その後、7月12日、8月13日に警戒レベル4の発令があり、広瀬地区としては、近年にない大雨に見舞われ、広瀬交流センターに避難所が開設されました。被害に遭われた地区もありました。お見舞い申し上げます。

今回の大雨に関し、安来市より自主防災ひろせに避難所運営に応援要請がございましたが、地球温暖化が原因とも言われる大雨の災害は、今後もあると思われ、災害に対する備えをしっかりとやる必要があると思います。昨年度は、コロナ感染症の広がり等で思うような活動ができませんでした。2022年になってオミクロン株によるコロナ感染が一気に広がりをみせております。状況を見ながらの活動になると思いますが、令和4年度自主防災ひろせの活動にご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 高齢者クラブ 副会長 永澤栄一

虎は千里を駆けると言われます。虎の勢いで社会情勢が良い方向に向かう年にと願うばかりです。

高齢者クラブの活動も昨年は色々と計画をされましたが中止となり、残念な年となりました。今年はや愛活動、健康活動、奉仕活動が実践出来る様、食事、運動、睡眠、休息を心掛けて、高齢者の皆様が、当たり前前の事が、当たり前前に出来る一年であります様に。

健康で元気に頑張りましょう。



## 広瀬小学校 校長 江戸宣文

新年明けましておめでとうございます。

子ども達がマスクをつけて学習するようになって3年目となりました。息がしにくいのに加え、表情で自分の感情を伝えたり、相手の気持ちを感じ取ったりすることもできにくいままの学校生活が続いています。そのような中であっても子ども達が前向きに取り組む姿は、私たち教職員に力を与えてくれます。またご家庭、地域の皆様にも元気をもたらしていることと思います。感染症の収束を願いながら、今年も学校でできる対策をしっかり行って学習や行事に工夫して取り組んでまいります。



## 広瀬中学校 校長 秦 美沙江



新しい年を迎えました。穏やかな暮らしを祈りながら、感染症対策を徹底する日々が続いています。

学校では、3学期のスタートにあたり、生徒たちに「成長を自覚し、感謝の気持ちを伝えよう」と呼びかけました。一人一人が心身の成長に目を向け肯定的に捉えること、また、その成長を支え導いてきた周囲の人々をはじめとする様々な環境に、感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

地域の皆様には、平素より広瀬中学校の教育活動にご理解、ご協力、ご支援いただいています。改めての感謝をお伝えするとともに、今後とも、生徒たちの成長、学校の成長にお力添えいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



## 幸盛祭実行委員会 会長 安部浩巳

新年に、無責任おやじのひとりごと  
明けましておめでとうございます。

さて、新型のコロナ禍の中、寝正月の気分も抜けきらない成人の日、市役所広瀬庁舎には何台もの引っ越し業者のトラックが忙しそうにしていたが、教育委員会の引っ越し？確か前市長は市町村合併時の一極集中をさげ、災害時の即対応や地域への予算の配分、過疎対策などを掲げ、対する行政の利便性や効率性を掲げた対抗勢力と2回にもわたる選挙を制し、いずれも勝利をされたはずなのに。

市民との対話が一番重視と語っている現市長、いったいどんな理由で、いつ決められたのだろうか？ましてや昨年は予算が無いからと言って富田山荘の廃業と長年にわたり町を照らしていた街路灯撤去の決定をしたばかり、我が町はどこに向かっていくのだろうか。

そんなこんなの中でも先日、高校生によって地元のためになるならと、「鹿介カレー」を作成販売することになったと知った。無責任おやじもこれには最大エールを送りたい。

ともあれ、新年を迎えた1月1日には月山に登頂し、お殿様に本年は幸盛祭をさらに盛り上げていくこと、そして我が町の発展、皆様のご健康とご多幸をお願いしたところです。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

